

## 挨拶

---

2010年12月13日に広島県に申請したNPO法人「天かける」は奇しくも東日本大震災の1週間後の3月18日に認可されました。それから3年の月日を経たこととなります。「天かける」の名称は当時私の勤めていたJA尾道総合病院外来ロビーに掲げられていた平山郁夫画伯の「天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道」から拝借させて頂きました。

尾道は尾道方式として良く知られている患者さん本位の地域包括ケアシステム（かかりつけ医を中心に医療、介護・福祉が連携をとり、それらに携わる多くの職種が協働して利用者が住み慣れた在宅で療養できるシステムを構築、在宅での緩和ケア・看取りにまで対応する）が機能し全国的にも高い評価を受けている地域です。

天かけるは、このホームページの「はじめに」と「事業」にも記載していますが、平山画伯の絵のように橋が島と島を結ぶように、医療と介護とがスムーズに結ばれることを祈念して命名したものです。これまでICT連携と学術支援を中心に事業を展開してきましたが本年度もこれらを踏襲するつもりです。

今年3月19日にNHKEテレで放映されたハートネットTV「最後まで地域で暮らしたい～チームで支援」は現在の尾道方式をしめしたものです。ご覧になられた方もおられると思います。年々進化する尾道方式ですが、そこには通奏低音のように信頼と尊敬が存在しています。これが地域包括ケアシステムと呼ばれるものです。このシステムにICTと言うツールを組み込んできました。取り組みの成果と課題は天かけるホームページのトップページの「お知らせ欄」に報告していますのでご参照頂ければ幸いです。急性期病院で電子カルテが必須なように地域二次医療圏においても医療圏全体がICT連携され、あたかもバーチャルホスピタルのようになればと願っています。

今後とも多方面からのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 伊藤勝陽